

一流と二流と三流の違い

「〇〇の点では一流だ」「あの人は全てにおいて一流だ」など、「〇流」という表現を聞いたことがあるかと思います。2年生の皆さんは、「〇流」について、考えたことがありますか。多くの人は、「まだ考えたことがないです。」と答えるかもしれません。ですが、大人だけではなく、中学生にも「〇流」があることを知ってほしいです。

まず、下の文を読んでみてください。現在の自分を振り返る時や、これからの自分について考える時の参考にしてほしいと思います。

「正しいことを、言われてできる」のは三流

「正しいことを、言われなくてもできる」のは二流

「言われなくても正しいことができ、それを後輩に伝えられる」のが一流

「言われなくてもできる」のが「一流」だと思っていた人はいませんか。周りの手本になり、周りから認められる人が「一流」だということです。ちなみに、この内容には続きがあります。

「言われなくてもできない、やらない」のは四流

では、あなたはもしたら一流に近づくことができるのでしょうか。それはまず、あなた自身が、「自分は成長できる、自分を変えよう」と思うことです。そして、少しずつ成長するために努力をします。



そのために、あなたは「自分が未熟」であることをしっかり受け入れる必要があります。そして、

未熟ということは、「成長できる」「伸びしろがある」ということ。

今日、できなかったことがあっても、明日できればいい。

今日、できなかったことに悔しさを感じ、それをバネに成長していけばいい。

ただし、できないままでは成長もない。

上の内容を心にとめて、毎日少しずつの積み重ねを実行するのがいいと思います。

1年8か月で、だいぶ中学生らしく成長してきましたが、「年上だから先輩」なのではない…というのは、以前お伝えした通りです。これからは「あこがれてもらえる先輩」「良くないことは良くないと言い、正しいことは正しいと言える先輩」を目指してほしいと思います。そのための支援を、学年の先生方や教科担任の先生は惜しみません。

本格的な冬を迎え、インフルエンザも流行しつつあります。

11月中は、例年に比べ気温の高い日が続きましたが、ついに雪が降り始め、冬景色になりました。このまま、根雪になるのでしょうか…。

ところで、2年生の皆さんは冬の支度をしっかりと整えて登校していると思いますが、時々、ポケットに手を入れたまま校内で過ごす人を見受けられます。寒いのはわかるのですが、マナーとしてはちょっとどうかな…と思います。それ以上に、何かあって転倒した時に受け身が取れず、けがにつながることもある…ということを考えてみてほしいです。

また、まる3年を迎えようとしているこのご時世ですが、仲間同士の身体的距離をとらずに手をつないだり腕を組んだり、おんぶをしたりされたりと、「自分や仲間



の健康を守ることができていない」状況もあります。

この冬は、インフルエンザが大流行するかもしれないと言われています。コロナウイルスもインフルエンザウイルスも、飛沫感染だけではなく空気感染をする可能性が高いのは、皆さんも知っているはずです。

「自分の体は自分で守る」「お互いの健康をお互いに守る」ことも中学生の「立派な役割・責任」です。